

1. 禪宗 2. 本地垂迹 3. 淨土信仰 4. 法華信仰

1. 上皇が政治を行う「院政」を支える組織として、独自の軍事貴族の地位を確立しようとした。	2. 天皇の母方の親戚という立場を利用し、摂関家と同様の仕組みで朝廷の権力を握ろうとした。	3. 地方の武士団を直接統制するために、各国に守護を配置して軍事的なネットワークを構築した。	4. 武力によって天皇を退位させ、武士独自の新しい政治制度を樹立しようとした。
---	---	--	---

1. 足利尊氏 2. 源頼朝 3. 藤原道長 4. 平清盛

1. 末法思想の影響による社会不安から、念仏を唱えて阿彌陀如来に救いを求め、極楽往生を願った。
2. 厳しい修行や座禅を行うことで、自らの力で悟りを開き、現世での苦しみから解放されることを目指した。
3. 山中での厳しい修行を通じて加持祈禱を行い、病氣平癒や災難を避けるなどの神秘的な力を得ようとした。
4. 法華經の教えを重んじ、写經や読經を通じて現世での利益や国家の安泰を得ることを第一に考えた。

1. 清少納言は、かな文字を用いて物語文学の最高傑作とされる『源氏物語』を執筆した。
2. 最澄は比叡山に延暦寺を建てて天台宗を広め、後の日本仏教に大きな影響を与えた。
3. 菅原道真は、遣唐使を増員して唐の進んだ法制度をさらに取り入れるべきだと主張した。
4. 最澄と空海は、摂関政治が全盛期を迎えた時代に、貴族の娘の教育係として宮中に仕えた。

1. 元 2. 宋 3. 明 4. 唐

1. 姫路城天守 2. 平等院鳳凰堂 3. 慈照寺銀閣 4. 法隆寺金堂

1. 遣唐使を通じて唐の新しい文学様式が伝わり、女性の宮廷官吏がそれを模倣したため。

2. 漢字を簡略化した「かな文字」が考案され、日本特有の感情や情景を表現しやすくなったため。

3. 武士が政治の実権を握り、実用的な知識よりも教養としての文学が推奨されたため。

4. 南蛮貿易によって活版印刷の技術が伝わり、女性の間でも執筆活動が容易になったため。

1. 天智天皇 2. 桓武天皇 3. 聖武天皇 4. 推古天皇

1. 南蛮貿易を通じてヨーロッパの文化が流入し、伝統的な日本の様式と融合したため。	2. 日宋貿易によって中国から最新の仏教や学問が連続してもたらされ、それがそのまま定着したため。	3. 遣唐使が停止され、それまで取り入れられた唐の文化が日本の風土や感性に合うように消化・吸収されたため。	4. 武士が政治の実権を握ったことで、それまでの貴族文化が否定されて素朴な東国文化が広まったため。
---	--	---	---

1. 遣唐使の廃止によって途絶えていた大陸との公式な国交を、朝廷の命を受けて正式に再開させるため。
2. キリスト教の布教を目的とする宣教師を保護し、ヨーロッパの先進的な武器や技術を導入するため。
3. 宋（中国）との貿易を活発にし、そこから得られる莫大な利益を平氏一族の経済的基盤とするため。
4. モンゴル帝国の侵攻に備えるための軍事拠点を構築し、瀬戸内海の制海権を完全に掌握するため。

1. 国風文化 2. 安土桃山文化 3. 鎌倉文化 4. 天平文化

1. 飛鳥文化 2. 化政文化 3. 国風文化 4. 天平文化

1. 唐が減びて宋が建国されたため、新しい国との外交を開始する準備として遣唐使を停止した。
2. 唐が衰退して学べべき価値が低下したため、菅原道真が停止を訴え、その後の国風文化の発展につながった。
3. 国内の政争を鎮めるために、有力者であった菅原道真を遣唐使として中国へ永住させることにした。
4. 遣隋使の時代から続く古い制度を廃止し、新たに武士を海外へ派遣するために派遣を中止した。